

蛇沼地区環境資源保全隊



地域を守る 仲間との「つながり」

蛇沼地区環境資源保全隊（岩間雅晴代表）は、農家を中心とする20人の活動団体です。国の制度「多面的機能支払交付金制度」を活用して活動しています。令和4年度に行った活動の一部を紹介します。

◆異常気象時の見回り、用水路の泥上げおよび用水路・農道の土のう積み

8月1日の集中豪雨により、農用地・水路・農道などが冠水しました。豪雨が収まった後、隊員たちは十分に安全を確認した上で、現場の状況確認を行いました。確認時、用水路に土砂が見られたため、除去作業を行いました。その後、被害拡大を防ぐため、冠水した現場に土のうを積みました。

◆農業用雑用水水源地タンクの清掃

水源地タンクに土砂が堆積し利用不能になったため、水量が正常になった後、業者指導のもと清掃活動を行いました。



冠水した農道



水路と農道に土のうを設置



水源地タンク清掃のようす

◆景観形成活動

農用地・水路・農道の景観形成活動や、水質保全活動などの共同活動を積極的に行っています。当日は、植栽しているカキツバタの刈り取りや、農業用雑用水タンクの清掃を行いました。



カキツバタの刈り取り

蛇沼登山クラブ発足50周年記念登山を行いました！

蛇沼地区の有志を募り発足した「蛇沼登山クラブ」が、ことして50周年の節目を迎えました。富士山や北岳、利尻山など数えきれないほどの登山を経験してきたメンバーは、ことし、1泊2日で福島県にある「安達太良山」と「吾妻小富士」を登りました。天候が心配される中始まった登山でしたが、山頂につく頃には晴れ、目の前に広がる見事な雲海にメンバーは心を打たれました。メンバーの蛇沼洋一さんは「50周年にふさわしい、素晴らしい登山だった」と振り返りました。



安達太良山の頂上で記念撮影